

令和6年度富山県国民健康保険特別会計決算について

■ 歳入	当初予算額	現計予算額 (2月補正後)	決算額		当初予算-決 算額	現計予算か らの差引額	項目の概要
			決算額	構成比			
①前期高齢者交付金	298.9億円	295.2億円	295.2億円	37.8%	-3.7億円	0.0億円	前期高齢者（65～74歳）の医療費負担を保険者間で調整するための支払基金からの交付金
②国庫支出金	200.8億円	214.7億円	207.9億円	26.6%	7.1億円	-6.8億円	
定率国庫負担金	(132.8億円)	(143.2億円)	(136.5億円)	17.5%	3.7億円	-6.7億円	保険給付費等に要した費用の32%を国が負担
調整交付金	(50.0億円)	(51.4億円)	(51.3億円)	6.6%	1.3億円	-0.1億円	都道府県間の財政不均衡等を調整する交付金
保険者努力支援交付金	(9.4億円)	(12.0億円)	(12.0億円)	1.5%	2.6億円	0.0億円	医療費適正化や収納率向上等の保険者努力に対する交付金
高額医療費負担金等	(8.6億円)	(8.1億円)	(8.1億円)	1.0%	-0.5億円	0.0億円	1件80万円以上の高額医療費の国負担分（1/4）等
③繰入金	56.6億円	57.0億円	47.3億円	6.1%	-9.3億円	-9.7億円	
定率負担金	(37.3億円)	(38.3億円)	(38.3億円)	4.9%	1.0億円	0.0億円	保険給付費等に要する費用の9%相当額を県が負担
高額医療費負担金	(6.8億円)	(6.4億円)	(6.4億円)	0.8%	-0.4億円	0.0億円	1件80万円以上の高額医療費の県負担分（1/4）等
基金繰入金（財政安定化繰入金）	(10.1億円)	(10.1億円)	(0.4億円)	0.1%	-9.7億円	-9.7億円	財政安定化基金からの取崩額
強化助成費繰入金	(1.0億円)	(1.0億円)	(1.0億円)	0.1%	0.0億円	0.0億円	地方単独医療費助成に係る国費等減額調整分に対し県の一般会計繰入金を充当
特定健診等負担金等	(1.4億円)	(1.2億円)	(1.2億円)	0.2%	0.2億円	0.0億円	特定健診等に要する費用の県負担分（1/3）等
④共同事業交付金	2.5億円	2.5億円	1.7億円	0.2%	-0.8億円	-0.8億円	特別高額医療費共同事業（1件420万円超のレセプトの200万円超）に係る国保中央会からの交付金
⑤納付金	200.1億円	200.1億円	200.1億円	25.6%	0.0億円	0.0億円	被保険者数：世帯数、所得能力、医療費水準に応じた市町村の負担
⑥繰越金	6.2億円	18.2億円	25.8億円	3.3%	19.6億円	7.6億円	R5決算剰余金
⑦その他	0.1億円	3.6億円	3.6億円	0.5%	3.5億円	0.0億円	過年度精算による返還金、諸収入、財産収入等
歳入合計	765.1億円	791.3億円	781.6億円	100.0%	16.5億円	-9.7億円	

■ 歳出	当初予算額	予算額 (2月補正後)	決算額		当初予算-決 算額	現計予算か らの差引額	項目の概要
			決算額	構成比			
①保険給付費等交付金	613.6億円	628.3億円	615.8億円	80.2%	2.2億円	-12.5億円	
普通交付金	(596.3億円)	(609.8億円)	(597.4億円)	77.8%	1.1億円	-12.4億円	市町村に交付する保険給付費等
特別交付金	(17.3億円)	(18.5億円)	(18.4億円)	2.4%	1.1億円	-0.1億円	市町村の個別事情に応じて交付
②後期高齢者支援金等	113.4億円	112.6億円	112.6億円	14.7%	-0.8億円	0.0億円	後期高齢者の医療費負担に係る支払基金への拠出
③前期高齢者納付金等	0.1億円	0.2億円	0.2億円	0.0%	0.1億円	0.0億円	前期高齢者の医療費負担に係る支払基金への拠出
④介護納付金	34.9億円	34.9億円	34.9億円	4.5%	0.0億円	0.0億円	国保の介護被保険者（40～64歳）の介護給付費に係る支払基金への拠出
⑤共同事業拠出金	2.5億円	2.5億円	1.8億円	0.2%	-0.7億円	-0.7億円	特別高額医療費共同事業（1件420万円超のレセプトの200万円超）に係る国保中央会への拠出
⑥諸支出金（償還金）	0.1億円	1.9億円	1.9億円	0.2%	1.8億円	0.0億円	療養給付費等負担金償還金、都道府県繰入金精算に伴う一般会計への繰出し、保険者努力支援交付金（事業費分）償還金、特定健診等負担金償還金等
⑦保健事業	0.6億円	0.6億円	0.5億円	0.1%	-0.1億円	-0.1億円	市町村国保における保健事業を支援
⑧財政安定化基金積立金		10.2億円	0.0億円	0.0%	0.0億円	-10.2億円	財政調整事業分における積立（過年度繰越金の積立）等
⑨その他	0.1億円	0.1億円	0.1億円	0.0%	0.0億円	0.0億円	総務管理費、運営協議会費、病床転換支援金等
歳出合計	765.1億円	791.3億円	767.8億円	100.0%	2.7億円	-23.5億円	

単年度収支： 13.8億円 13.8億円

【参考】財政安定化基金（財政調整機能分）残高
R7.3.31（R6年度末）時点 約9.6億円
令和7年度納付金減算のため、ここから3.8億円取崩し予定

※R4年度末残高： 約18.6億円
R5年度末残高： 約10億円

（単年度黒字額の主な要因）
【歳入】△9.7億円（国庫支出金△6.8億円、繰入金△9.7億円、共同事業交付金△0.8億円、繰越金+7.6億円）
【歳出】△23.5億円（保険給付費等交付金△12.5億円、共同事業拠出金△0.7億円、保健事業△0.1億円、財政安定化基金積立金△10.2億円）

●現計予算(2月補正時点)と決算との比較から見た主な増減理由

(1)冬季のインフルエンザ、感染症流行に伴う医療費増を見越して保険給付費等交付金を増額補正し、不足分を国庫支出金等から補う予定であったが、年度末には医療費の増加に落ち着きが見られ、歳入・歳出ともに落ち着きが見られたもの【歳入】国庫支出金:△6.7億円【歳出】保険給付費等交付金:△12.5億円

(2)財政安定化基金について、取崩分と積立分を現計予算では歳入・歳出に総額を計上していたが、事務の省力化の観点から取崩・積立額を相殺した金額で決算額として計上したもの

【歳入】繰入金:△9.7億円【歳出】財政安定化基金積立金:△10.2億円

※基金の取崩額(①+②)、積立額(③+④)の内訳

- ①令和6年度納付金の減算のための取崩分 832,996,036円
- ②令和6年度決算の歳出に対する財源充当のための取崩分 229,264,000円
- ③令和5年度決算の財源充当のため取崩した金額の積戻分 855,407,000円
- ④令和5年度決算の剰余金からの積立分 164,671,623円

取崩額 1,062,260,036円
積立額 1,020,078,623円
⇒差額42,181,413円を基金から取崩し、国保特会の歳入として計上

(3)令和5年度からの繰越金について、7.6億円(令和7年度当初予算計上分、令和7年度納付金減算等に活用)を令和6年度の歳入として繰越したもの【歳入】繰越金:7.6億円

